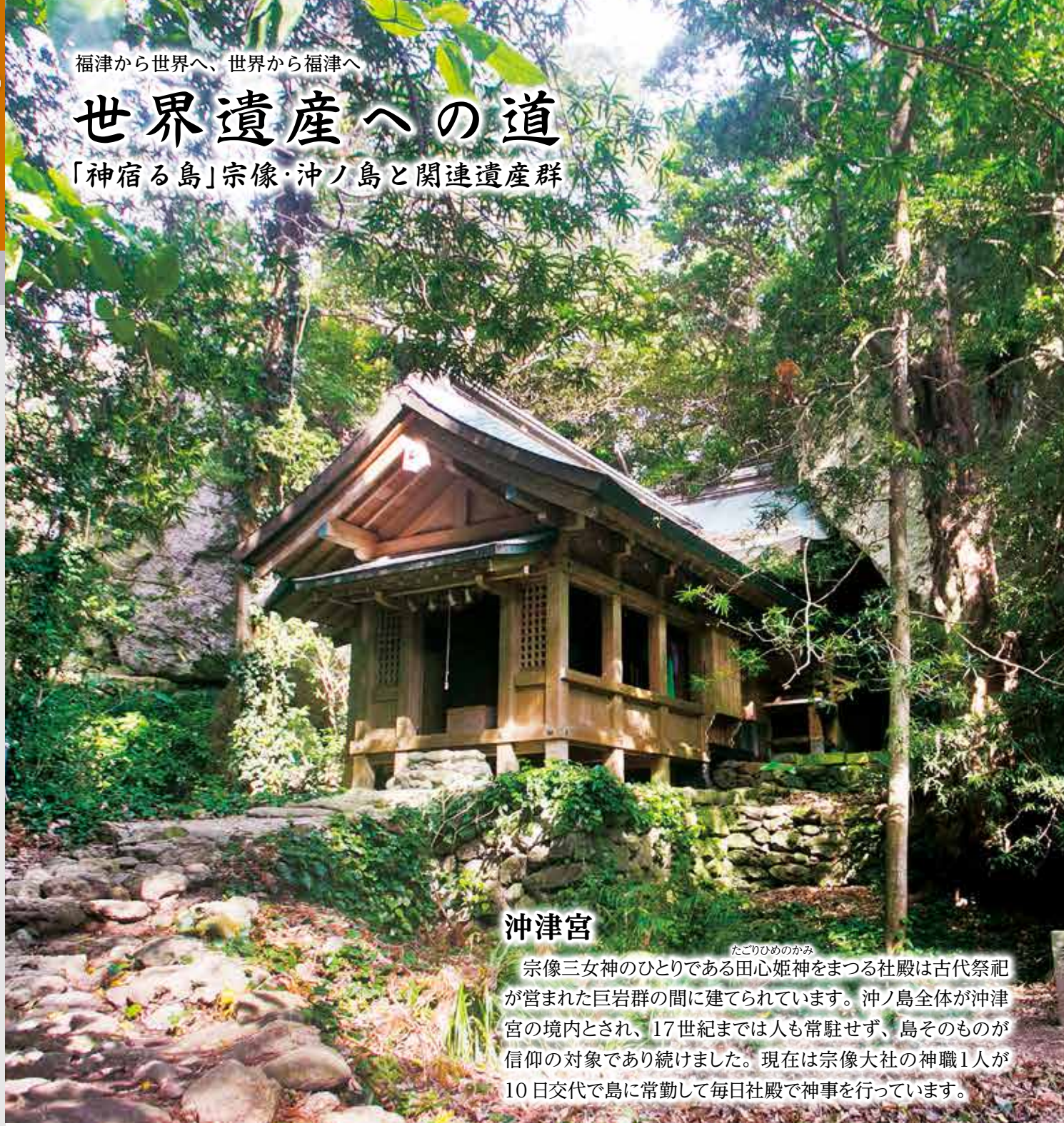
広報ふくつ
2017 2
No. 145

福津から世界へ、世界から福津へ

世界遺産への道

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群



沖津宮

宗像三女神のひとりである田心姫神（たごりひめのかみ）をまつる社殿は古代祭祀が営まれた巨岩群の間に建てられています。沖ノ島全体が沖津宮の境内とされ、17世紀までは人も常駐せず、島そのものが信仰の対象であり続けました。現在は宗像大社の神職1人が10日交代で島に常勤して毎日社殿で神事を行っています。

届け私の思い

新原・奴山古墳群を世界遺産に！

今月は一部の地域の郷づくり推進協議会で話を聞きました。

古墳群のことを知って自慢してほしい

福間地域郷づくり
岡田 和憲 さん

松林で行っていたウオーキングを世界遺産登録応援するために新原・奴山古墳群までコースを延ばして実施しました。福津に誇れる遺産があるということを多くの人に知ってほしいと思います。

古墳からの当時の眺めを想像して

神興東地域郷づくり
石田 まなみ さん

新原・奴山古墳群を初めて見たときは、古墳の上に木もなくて、きれいな形だと思いました。上からの眺めが好きで、古墳が造られた頃もこのような風景が広がっていたのかと当時を想像するのが楽しいです。

古墳群の整備をしっかりお願いします

福間南地域郷づくり
原 秀俊 さん

新原・奴山古墳群に初めて行った時は案内が不十分だと感じました。今後、古墳の内部が見学できたらいいなと思います。県内の小学校で遺産群について学んで欲しい。多くの人に知ってもらいたいと思います。

発行 福津市
編集 広報秘書課 〒811-3293 福岡県福津市中央1-1-1
印刷 久野印刷株式会社

UD FONT by MORISAWA